

事務事業評価表(既存事業)

コード 2-4-1	事務事業名 市表彰関係事務	所管部課 総務部市長室
--------------	------------------	----------------

事務事業の概要	事務事業の目的 本市の政治、教育、文化、社会その他各般にわたって市政振興に寄与し、また市民の模範と認められる行為があった者を表彰することを目的とする。	総合計画上の位置づけ
	実施内容、実施方法 市長の職にあった者等に対する功労表彰、市の公益事業に尽力し、又は公務を助力しその功績顕著なもの等に対する一般表彰及び市政に対し協力のあった者に対する感謝状の贈呈を、市表彰式として一括して行う。	根拠法令等 西東京市表彰条例 感謝状等の贈呈に関する事務取扱要領
	事業開始時期 合併前から	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 表彰推薦者数	活動指標の考え方(定義) 庁内等からの表彰推薦者数
	成果指標名 表彰者数	成果指標の考え方(定義) 表彰審査会により決定した表彰者数

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		446	648	518	1,308	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		446	648	518	1,308	
	所要人員(B)	人	0.23	0.23	0.23	0.23	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,897	1,903	1,915	1,915	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	2,343	2,551	2,433	3,223	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(表彰推薦者数)	千円	44	65	81		
	歳入	千円	0	0	0	0	
	活動指標	目標値	人			30	52
		実績値	人	53	39	30	
	活動指標	目標値					
実績値							
成果指標	目標値	人			30	51	
	実績値	人	45	34	30		
成果指標	目標値						
	実績値						

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	
	国・都・他市・民間等 における類似事業	未調査
	運営上の制約条件・ 外部要因等	

コード 2-4-1	事務事業名 市表彰関係事務	所管部課 総務部市長室
--------------	------------------	----------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	市表彰については、庁内に一定程度浸透しており、概ね安定した実績をあげている。表彰者数は、平成14年度から減少しているが、功労表彰の対象者が各年度により増減があるため、一概に減少傾向とはいえない。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	市政への功労者及び協力者に対し表彰を行うことで、より一層市政運営に関する理解、協力を得ることができる。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	事業費は、例年、概ね100万円程度(予算ベース)となっている。今後は、記念品の単価等、他団体との比較・検証を行い、適正な事業費の把握に努める。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	推薦者の照会が、現在は田無警察署及び西東京消防署並びに庁内に限られており、市政全般に係る情報の把握に課題がある。今後、照会先の拡大など、広く情報収集する体制を検討する必要がある。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	相対的には必要な事業であるが、事業費に対する費用対効果を検証する必要がある。また、一般表彰と感謝状贈呈の基準を見直し、両者の区分を明確にする検討を行う必要がある。

17年度における改善点	平成18年度表彰に向けて、他団体の状況の把握を行うとともに、内部で基準の見直し等を検討する。
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。